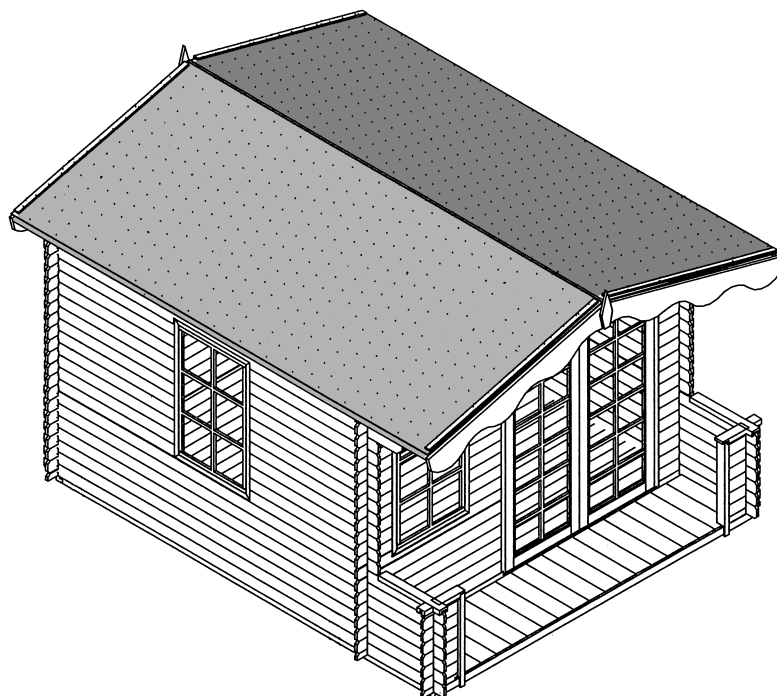


『NEW RETREAT 3238』

—ASSEMBLY MANUAL— (組立説明書)



この度はニューリトリートをお買い上げ下さいまして、誠にありがとうございます。どうぞ末長くご愛用いただきますよう、お願い申し上げます。

なお、このハウスの組立、ご使用にあたってのご注意についての本説明書は必ずお読み下さい。

安全確保のために設置場所及び転倒防止には充分御注意下さい。

日本総輸入元

JB ジャービス商事株式会社

宇都宮市西川田本町3-24-17

TEL : 028-615-2666

FAX : 028-615-2662

—ご準備していただく工具類—

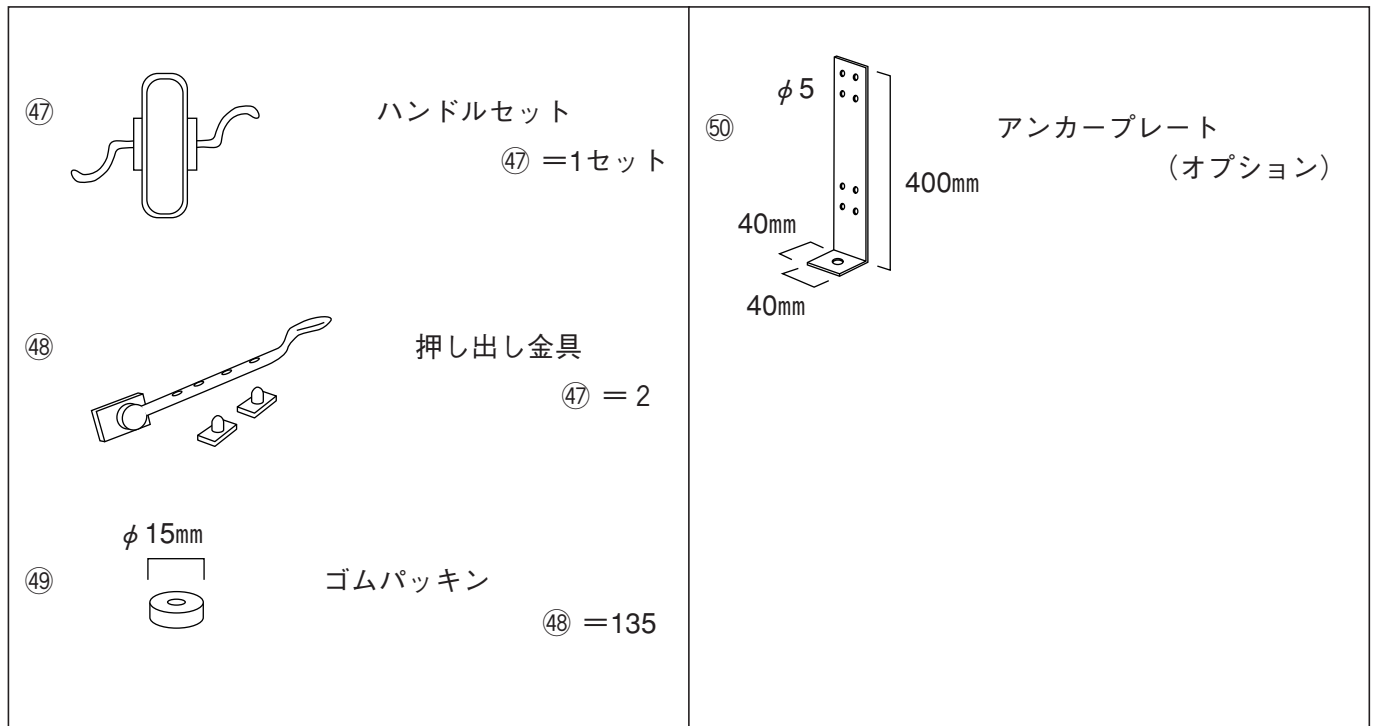
- ・ハンマー
- ・ノコギリ
- ・水平器
- ・スコップ
- ・+ドライバー

- ・インパクトドライバー
- ・カッター
- ・スケール
- ・ノミ
- ・基礎用1/2ブロック、又はレンガ

—部材リスト—

① 土台	① = 1	3000×60×60mm	⑪ ログ板	⑪ = 12	300×110×34mm
② 土台	② = 1	2940×60×60mm	⑫ ログ板	⑫ = 2	300×60×34mm
③ 土台	③ = 1	3000×60×60mm	⑬ ログ板	⑬ = 7	1389×110×34mm
④ 土台	④ = 2	3550×60×60mm	⑭ ログ板	⑭ = 1	3200×110×34mm
⑤ 土台	⑤ = 4	2950×60×60mm	⑮ ログ板	⑮ = 33	3200×110×34mm
⑥ ログ板	⑥ = 1	1389×60×34mm	⑯ ログ板	⑯ = 22	1254×110×34mm
⑦ ログ板	⑦ = 1	348.5×60×34mm	⑰ ログ板	⑰ = 14	3800×110×34mm
⑧ ログ板	⑧ = 2	300×60×34mm	⑱ ログ板	⑱ = 1	3200×110×34mm
⑨ ログ板	⑨ = 10	348.5×110×34mm	⑲ ログ板	⑲ = 1	3200×110×34mm
⑩ ログ板	⑩ = 27	348.5×110×34mm	⑳ ログ板	㉑ = 2	3400×110×34mm
			㉑ ログ板	㉑ = 2	3600×110×34mm
			㉒ ログ板	㉒ = 1	3200×60×34mm

②③ 笠木 ②③ = 2 80×75×40mm ②④ 笠木 ②④ = 2 167×75×40mm ②⑤ 笠木 ②⑤ = 2 770×75×40mm ②⑥ 笠木 ②⑥ = 2 580×75×40mm ②⑦ 窓 ②⑦ = 2 1150×730×80mm ②⑧ ドア ②⑧ = 1 1500×1820×80mm ②⑨ ツマ壁 ②⑨ = 2 3200×425×34mm ③⑩ 屋根板 ③⑩ = 3 2927×975×50mm ③⑪ 屋根板 ③⑪ = 6 1780×987×60mm ③⑫ 屋根板 ③⑫ = 2 1780×716×60mm	③③ 屋根板 ③③ = 2 1780×116×60mm ③④ バルコニー床板 ③④ = 2 600×1463×50mm ③⑤ 梁板 ③⑤ = 3 3800×140×34mm ③⑥ 破風板(前後) ③⑥ = 4 1900×190×25mm ③⑦ 破風板(左右) ③⑦ = 2 3800×60×20mm ③⑧ 棟飾り ③⑧ = 2 300×60×10mm ③⑨ 屋根押え ③⑨ = 4 1775×40×20mm ④⑩ 固定金具 ④⑩ = 4 ④⑪ ルーフィングフェルト ④⑫ ビス ④⑫ = 139 3×25mm ④⑬ ビス ④⑬ = 80 4×35mm ④⑭ ビス ④⑭ = 14 4×40mm ④⑮ ビス ④⑮ = 18 4×45mm ④⑯ ビス ④⑯ = 52 4×50mm
--	--

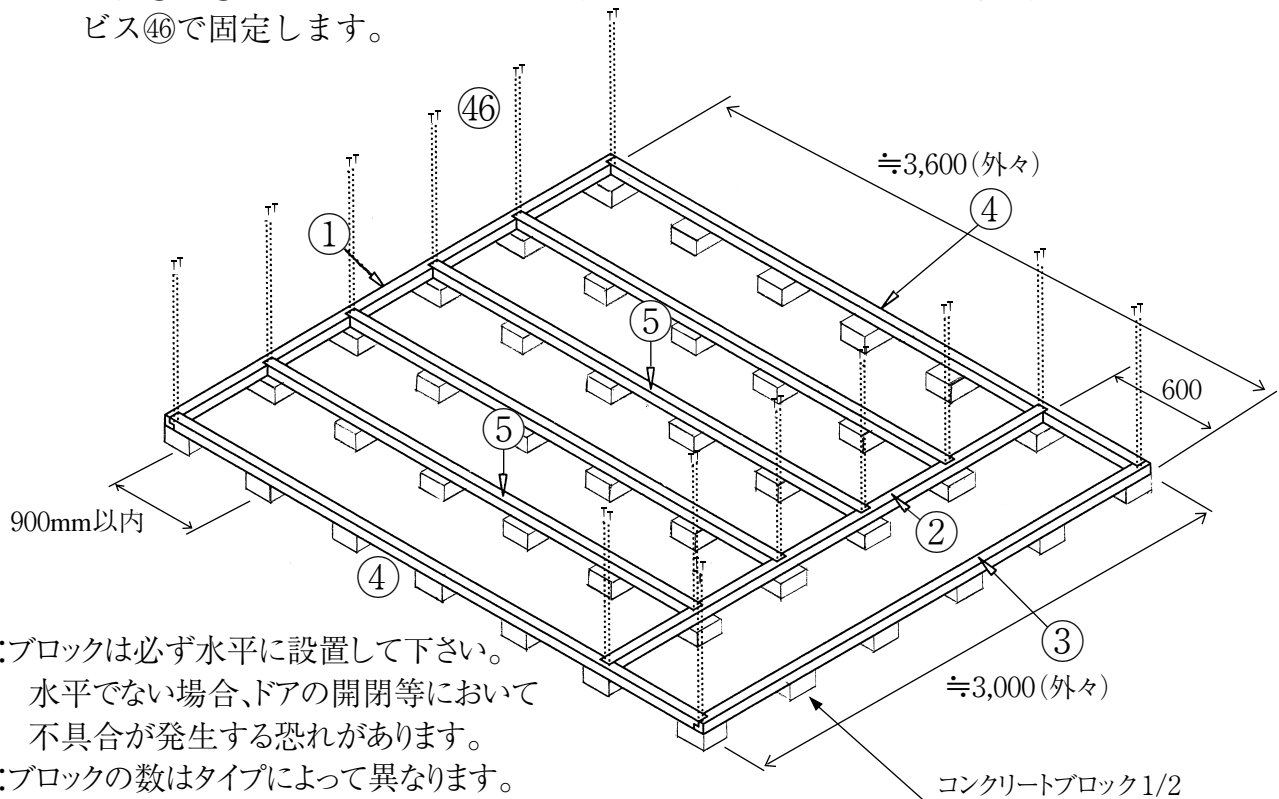


—組立順序のご説明—

- 安全確保の為、転倒防止工事には充分ご注意ください。
- この機種は、転倒風圧が大きいので特に注意が必要です。
- ビス止めを必要とする部材にはすべて仮穴をあけて下さい。

1

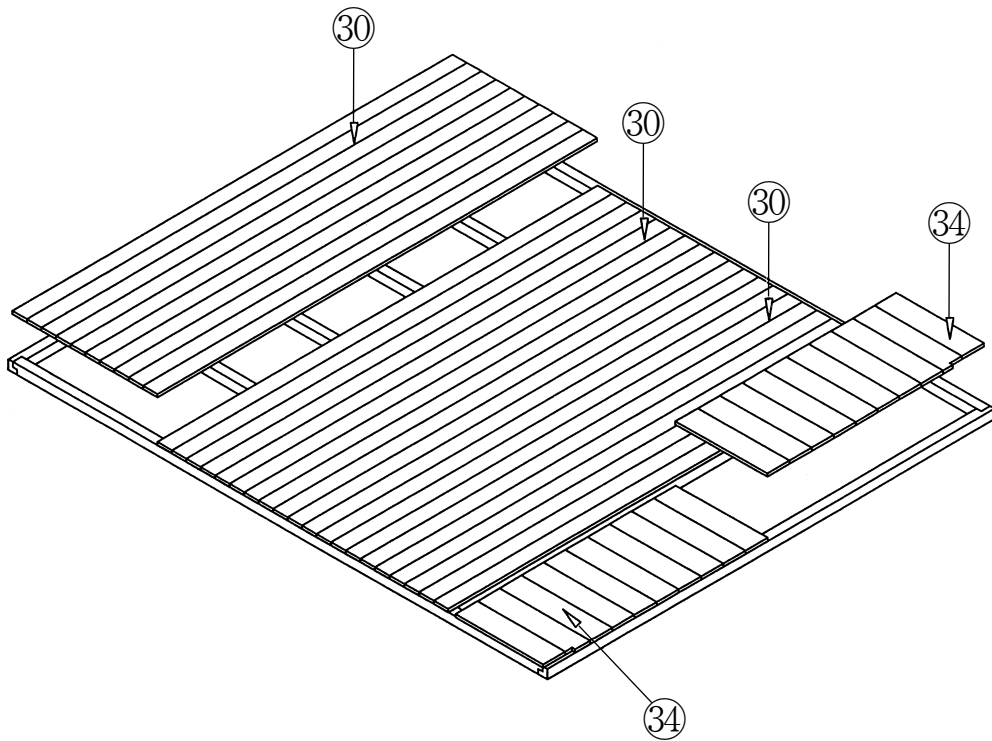
コンクリートブロック1/2を、土台の下に入るように配置し、水平に設置します。土台①～⑤を図のように並べ、対角の長さをそろえて、四隅を直角にしてビス④⑥で固定します。



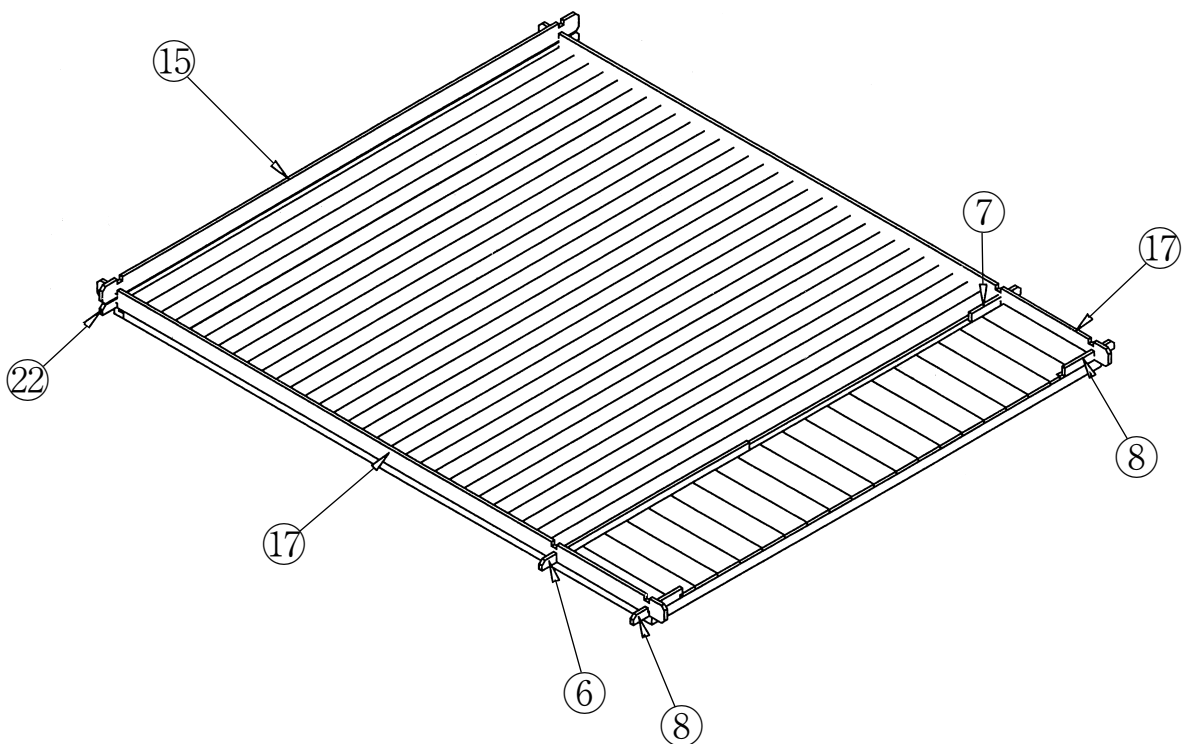
- 注:ブロックは必ず水平に設置して下さい。
水平でない場合、ドアの開閉等において不具合が発生する恐れがあります。
- 注:ブロックの数はタイプによって異なります。
- 注:ブロックの間隔は900mm以内に配置して下さい。

2

床板③①、③④を図のように敷きます。

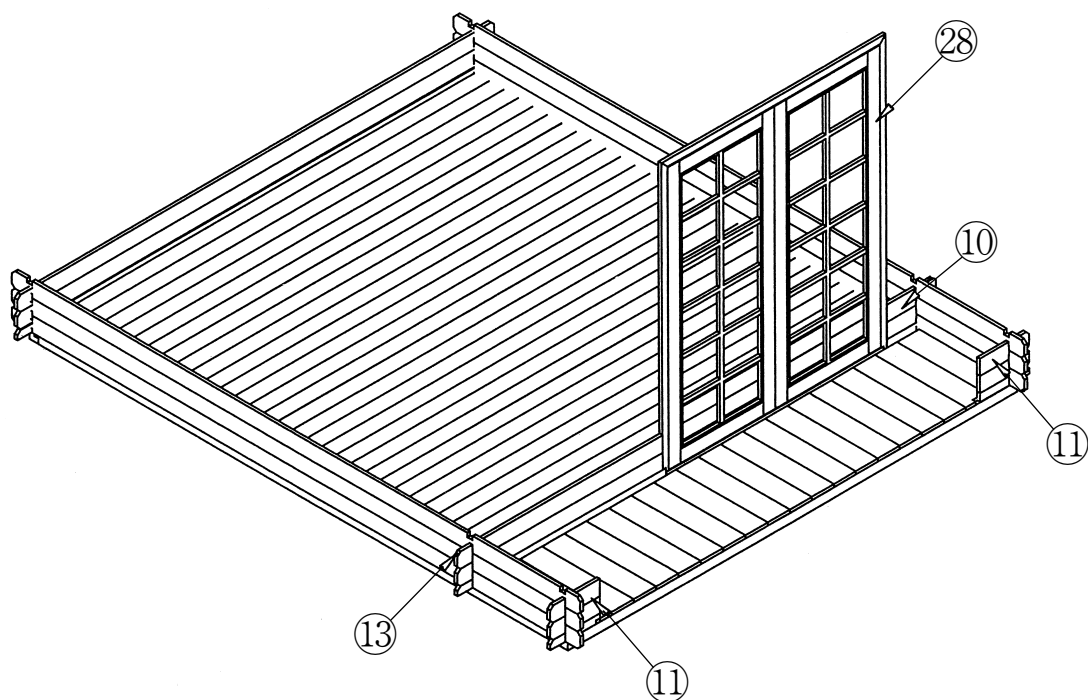
**3**

ログ板⑥、⑦、⑧、⑮、⑰、⑳、を図のように配置します。



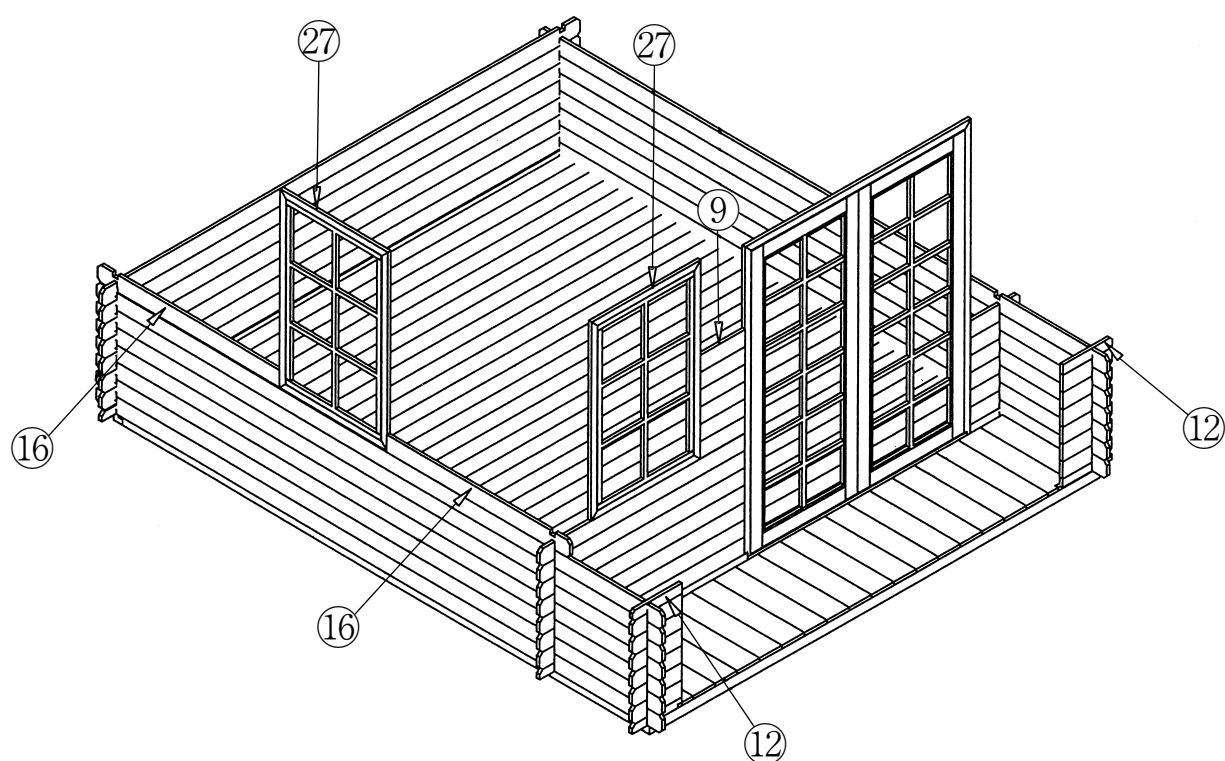
4

ドアパネルを設置します。



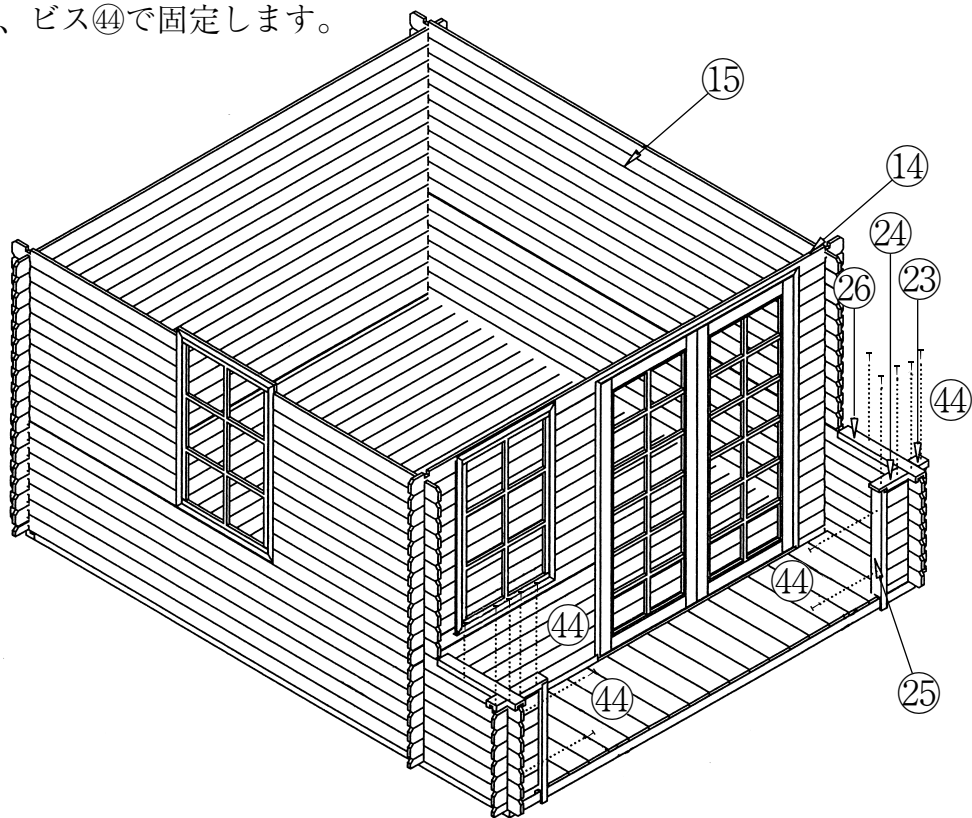
5

ログ板を交互に積み重ねていきながら窓パネルを設置します。



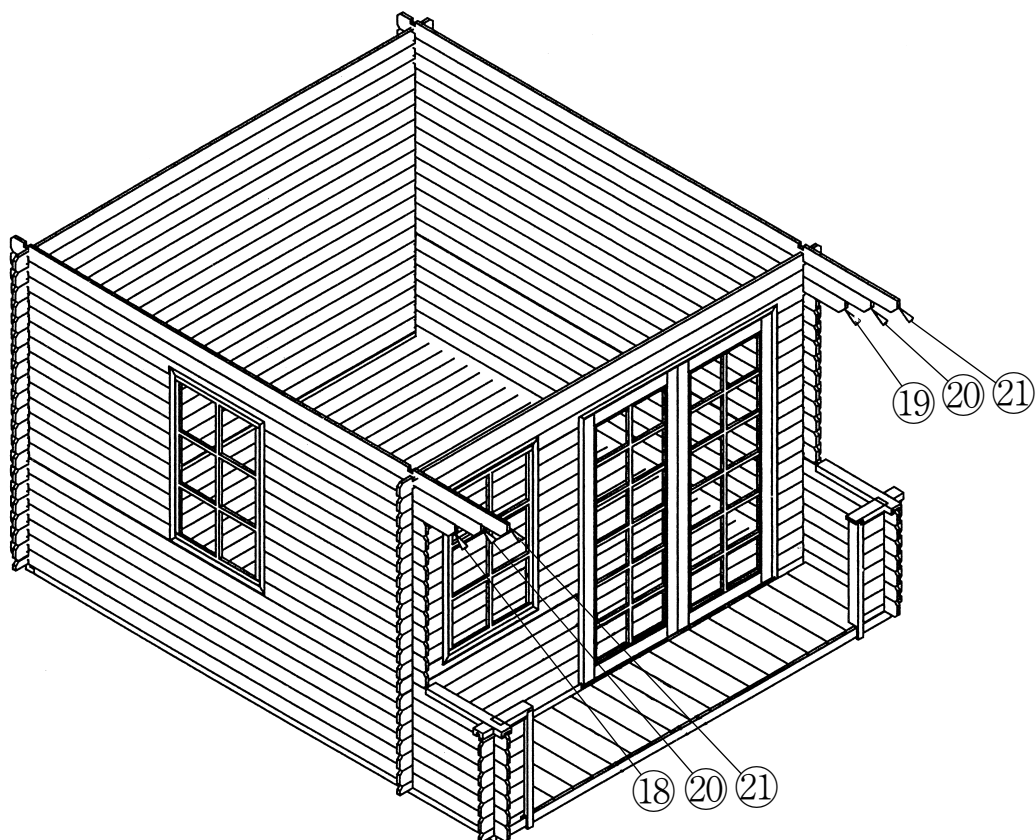
6

ログ板を図のように組み上げます。
バルコニー部分の笠木とタテ枠を
設置し、ビス④④で固定します。



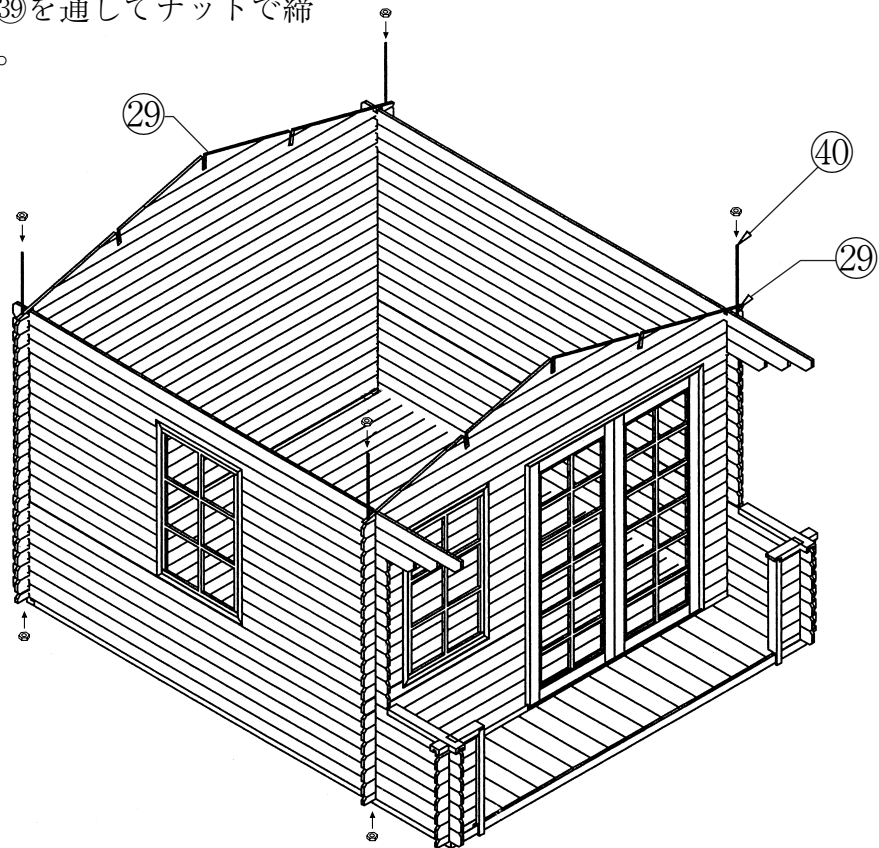
7

ログ板⑱、⑳、㉑を図のように組み上げます。



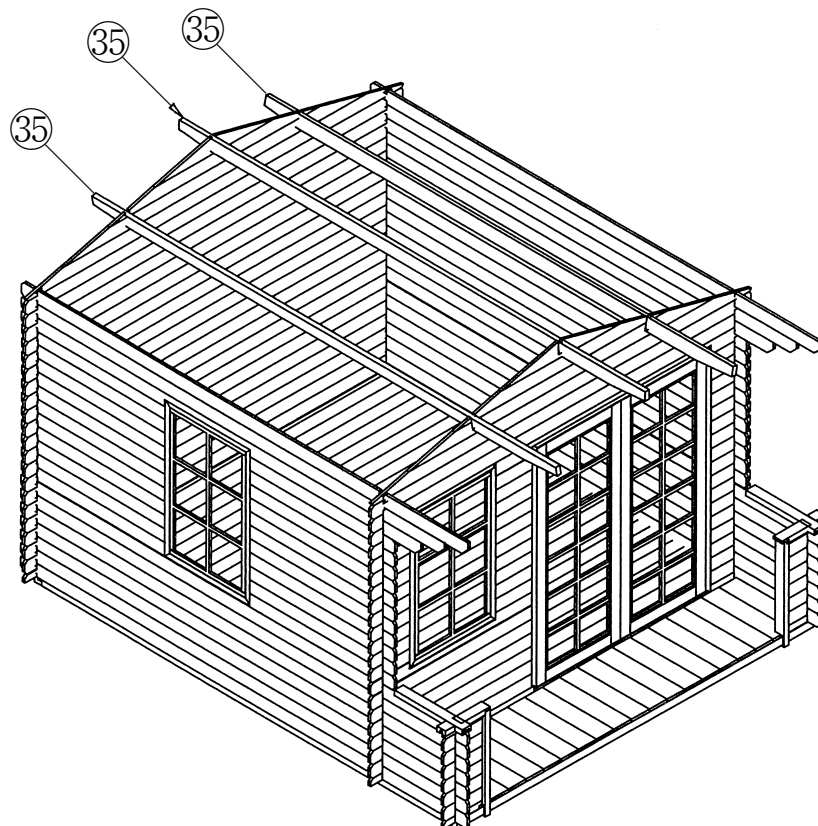
8

ツマ壁⑳を設置し、四隅のタテ穴に固定金具㉔を通してナットで締め付けます。



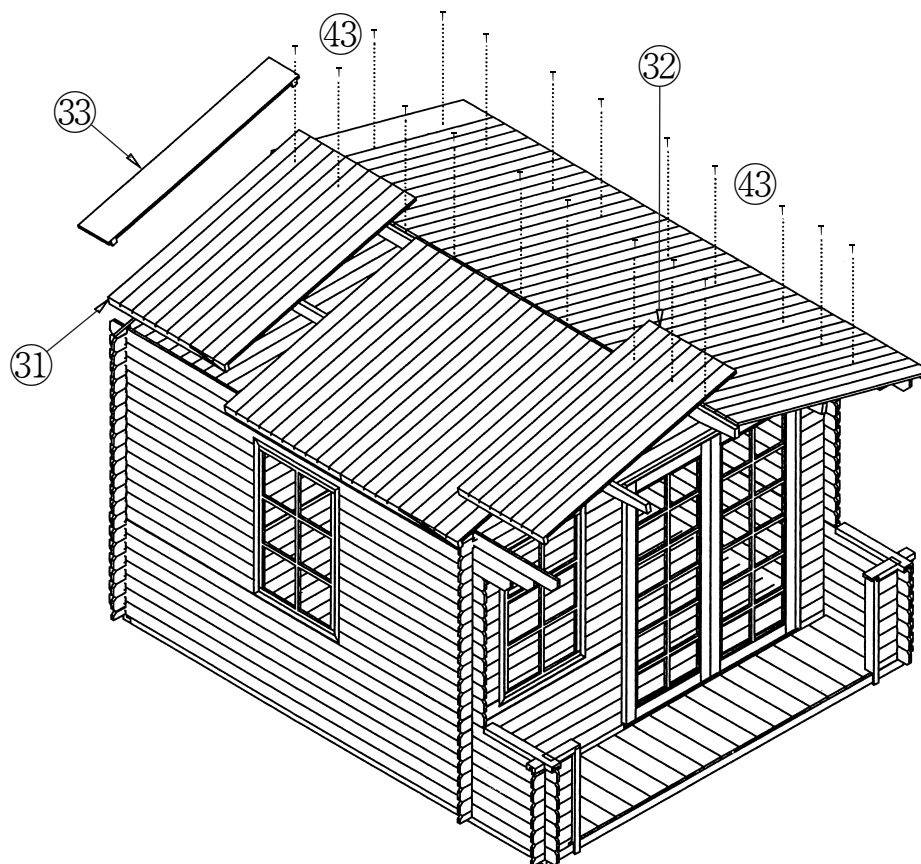
9

梁板㉕を設置します。

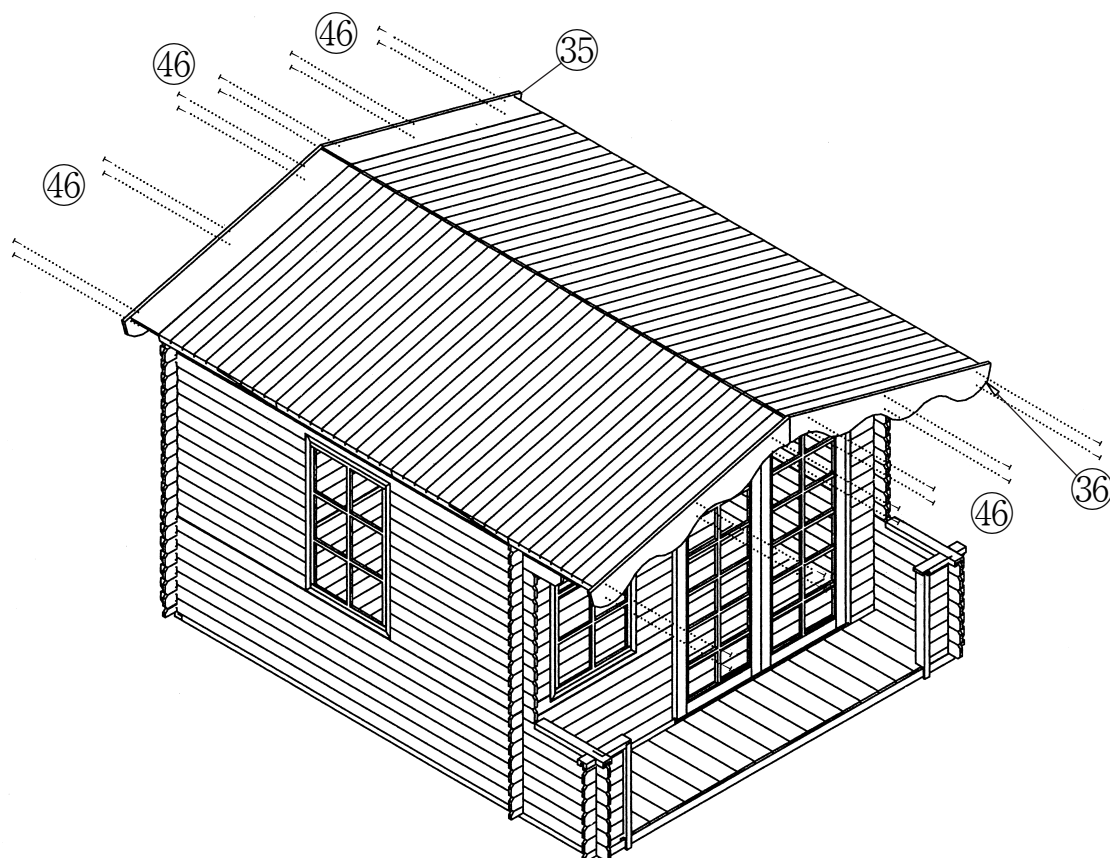


10

屋根板③①、③②、③③を図のように設置し、ビス④③で固定します。

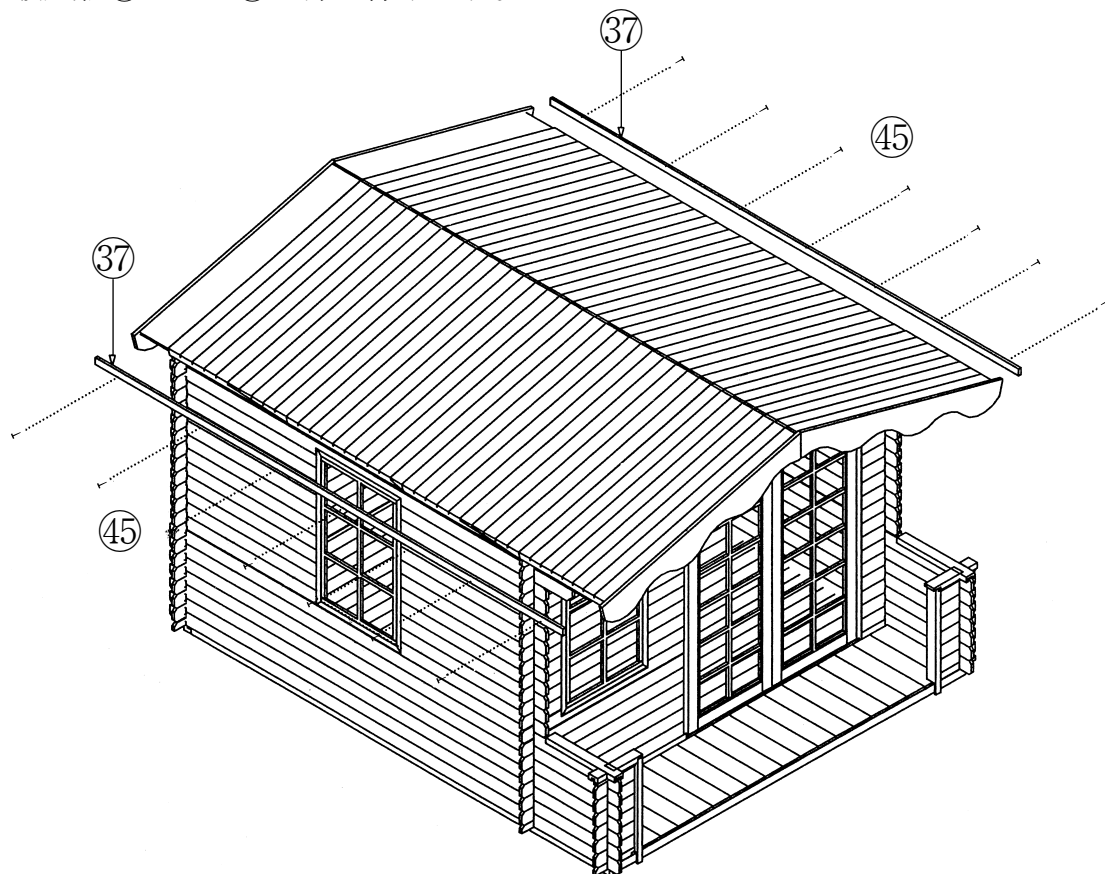
**11**

破風板③⑥をビス④⑥で打ち付けます。



12

破風板③⑦をビス④⑤で打ち付けます。

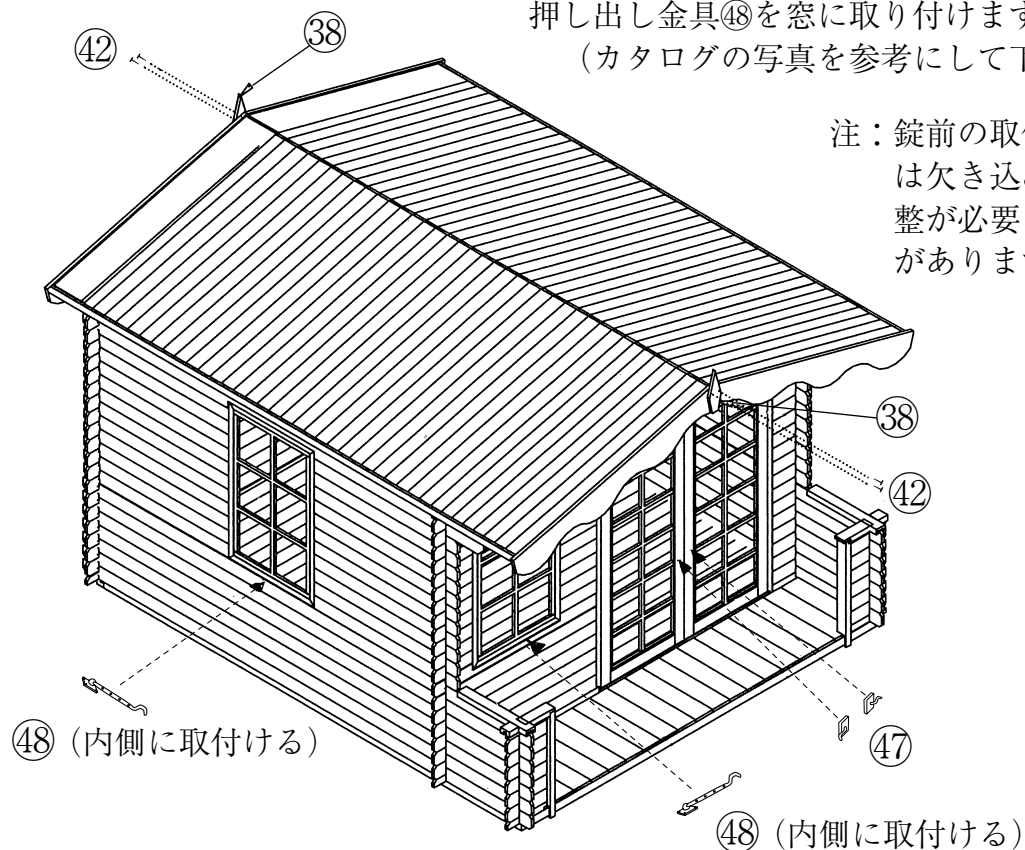


13

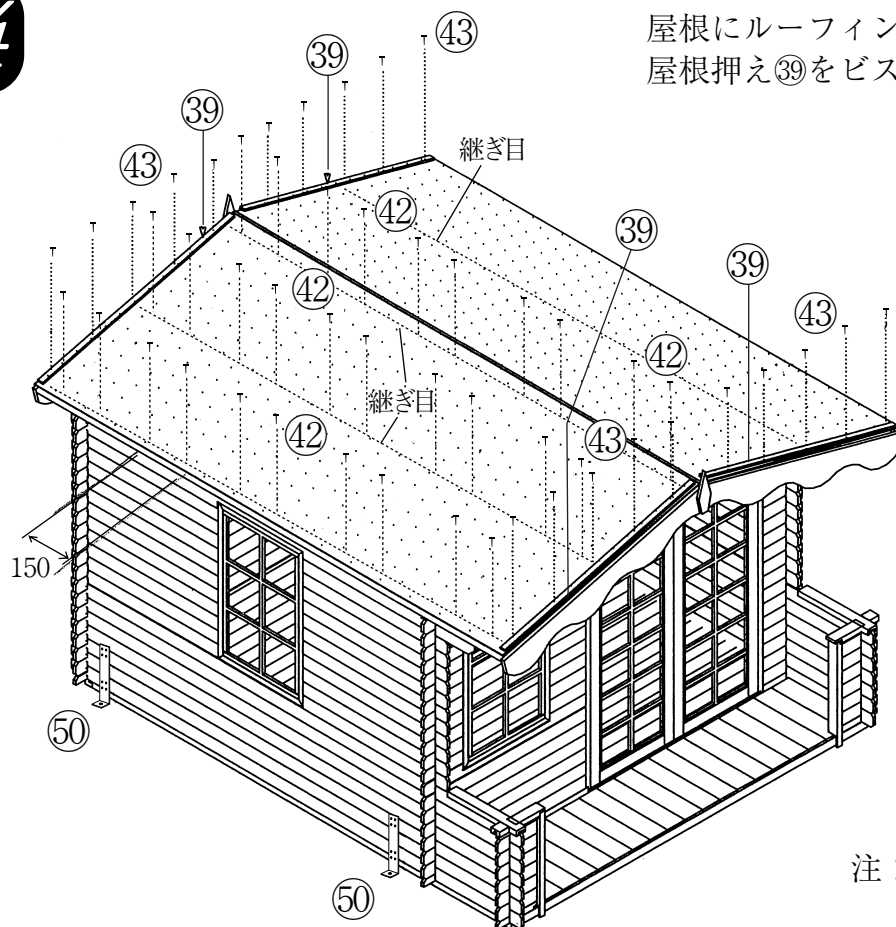
棟飾り③⑧をビス④②で打ち付けます。

レバーハンドル④⑦をドアに取り付けます。
押し出し金具④⑧を窓に取り付けます。
(カタログの写真を参考にして下さい)

注：錠前の取付時には
欠き込み等調整
が必要な場合
があります。



14



屋根にルーフィングフェルト④①を敷き、
屋根押え③⑨をビス④③で打ち付けます。

ルーフィングフェルト
の外周と重ね部分
に、ゴムパッキン④⑨
とビス④②を150ピッ
チで打ちつけます。

建物を地盤面に固定
するため、四隅にア
ンカープレート⑤⑩を
取り付けます。
(詳細は図15をご覧
下さい)

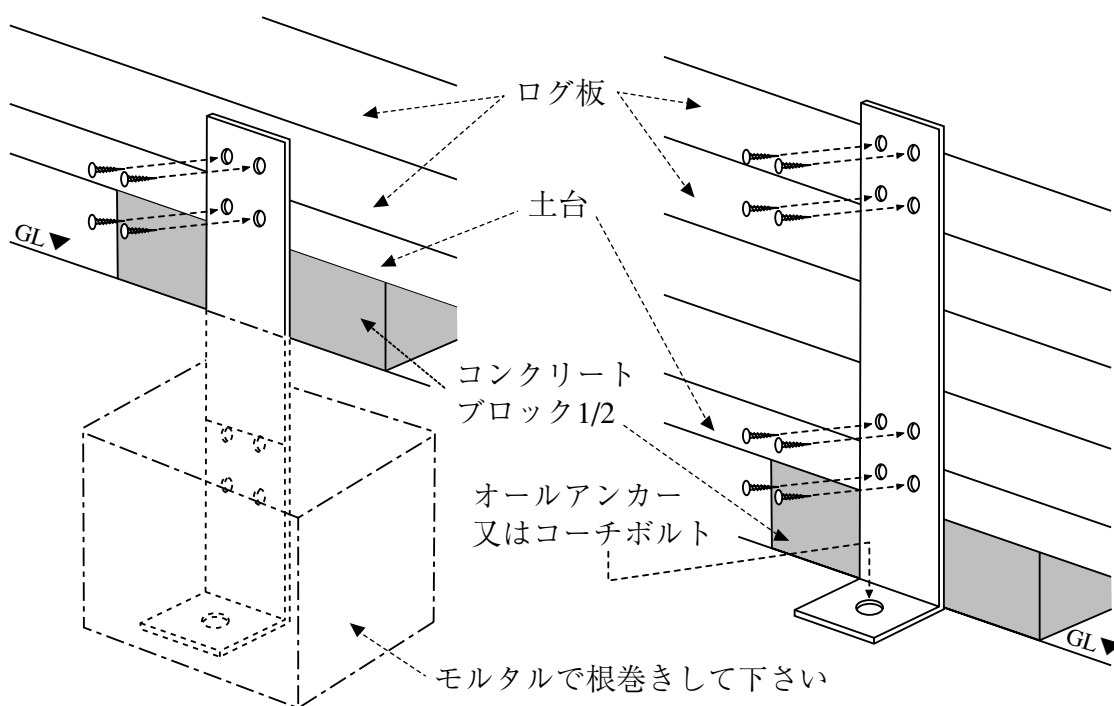
注：フェルト同志の重ねは
十分にとって下さい。

15

アンカープレートの施工 (オプション)

[アンカープレートを地中に埋め込む場合]

[アンカープレートを地中に埋め込まない場合]



※各コーナーにつき 1 ヶ所使用して下さい。

—そ の 他—

- ・オプションとして
 - ・ブロック（1／2ブロック、又は基本ブロック）
 - ・アンカープレート工事 ・雨どい工事
 - ・窓追加工事
 - ・屋根材の変更工事（U瓦、及びコロニアルタイプ）等のグレードアップパーツが取りそろえております。
- ・安全のため、アンカー工事をするをお勧めします。
- ・価格については別紙カタログをご覧ください。

—ご使用にあたってのご注意—

1. このハウスは床面積が少ないため、転倒または吹き飛ばされる事があります。転倒防止工事をお願いします。
2. 材質は中国桧ですので、耐水性に優れています。
長持ちさせるため、又は変色を防ぐために、定期的に塗装することをおすすめします。
3. 木製商品のため、長い間にはソリ、ネジレ、ヒビ等が発生するおそれがありますので、ご了承ください。
4. さらに長持ちさせるために、年1回のお手入れをお勧めします。

※特に風当たりの強い場所に設置する場合は、転倒防止に充分ご注意下さい。